

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業425社を対象に実施し、279社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成28年1月～3月の実績、平成28年4月～6月の見込み、平成28年7月～9月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成28年3月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	182	123	67.6%
非 製 造 業	243	156	64.2%
計	425	279	65.6%

日銀が5月17日に公表した、北陸の金融経済月報（2016年5月）によると、「北陸の景気は、回復を続けている。

最終需要をみると、個人消費や住宅投資が持ち直しているほか、設備投資は着実に増加している。また、公共投資は下げ止まりつつある。

当地製造業の生産は高水準で推移している。業種別にみると、化学は振れを伴いつつも、穏やかに増加している。電子部品・デバイスが高水準で推移している。

金属製品は横ばい圏内の動きとなっている。はん用・生産用・業務用機械は下げ止まりつつある。繊維は弱めの動きとなっている。

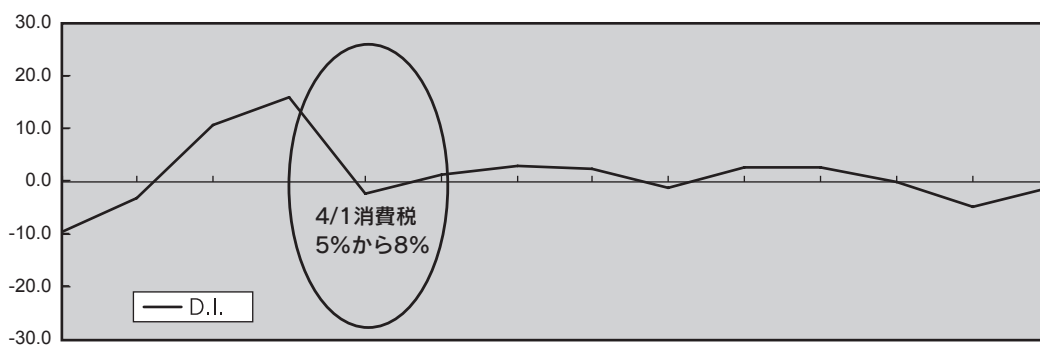
雇用・所得環境は着実に改善している。」としている。

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

(%) 見込 予測

種別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良 い	14.2	13.7	24.3	26.7	15.5	17.5	17.0	19.4	16.2	14.3	16.5	14.9	8.7	8.4
普 通	62.2	69.6	62.0	62.6	66.5	66.1	68.9	63.5	66.5	74.0	69.5	70.3	77.8	82.1
悪 い	23.6	16.7	13.8	10.7	17.9	16.3	14.1	17.1	17.3	11.7	14.0	14.9	13.5	9.5
D . I .	-9.4	-3.1	10.5	16.0	-2.4	1.2	2.9	2.3	-1.1	2.6	2.5	0.0	-4.7	-1.1

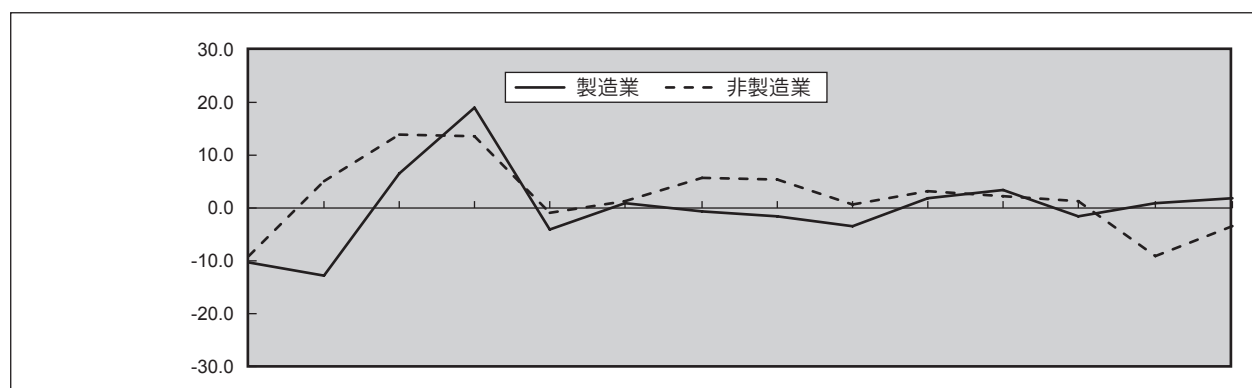


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		（%）														
		25 年			26 年			27 年			28 年			見込	予測	
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
良	い	16.8	10.5	21.6	28.9	17.6	19.4	15.3	18.8	16.5	14.6	18.3	15.7	10.7	9.9	
普	通	56.0	66.2	63.2	61.2	60.5	62.0	68.5	60.7	63.3	72.4	66.7	66.9	79.3	81.8	
悪	い	27.2	23.3	15.2	9.9	21.8	18.5	16.2	20.5	20.2	13.0	15.1	17.4	9.9	8.3	
D . I .		-10.4	-12.8	6.4	19.0	-4.2	0.9	-0.9	-1.8	-3.7	1.6	3.2	-1.7	0.8	1.7	

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		（%）														
		25 年			26 年			27 年			28 年			見込	予測	
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
良	い	12.0	16.3	26.5	24.8	13.6	16.1	18.2	19.9	16.0	14.1	15.3	14.2	7.1	7.2	
普	通	67.3	72.5	60.9	63.8	72.0	69.1	69.2	65.6	68.7	75.1	71.4	72.9	76.6	82.4	
悪	い	20.7	11.3	12.6	11.3	14.4	14.8	12.6	14.6	15.3	10.8	13.2	12.9	16.2	10.5	
D . I .		-8.7	5.0	13.9	13.5	-0.8	1.3	5.7	5.3	0.6	3.2	2.1	1.3	-9.1	-3.3	



(1) 富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の28年1～3月期実績は0.0と前期比2.5ポイントの悪化なった。

先行きについて、28年4～6月期のD.I.は▲4.7と悪化、28年7～9月期のD.I.は▲1.1とこれも、マイナス予想となっている。

前回調査では、先行き悪化予想であったが、予想通りの回答となった。また、今回も先行きは悪化予想の回答であった。

(2) 業況判断指数D.I.の28年1～3月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より4.9ポイント悪化、非製造業は前期より1.9ポイント悪化となった。

先行き予想では、製造業は改善予想となっているが、非製造業は、悪化予想となっている。また、非製造業はマイナスポイントであり、景気は悪いとの回答が多い。

II. 売上高状況

売上高状況

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月
増加	30.6	32.3	43.1	53.0	29.9	31.4	30.0	28.3	28.2	28.0	27.3	26.8	18.7	15.9
横ばい	42.1	45.9	39.9	33.2	43.4	43.3	43.1	41.5	45.1	47.7	45.1	47.5	55.2	65.7
減少	27.4	21.7	17.5	13.8	26.7	25.3	27.0	30.2	26.8	24.2	27.6	25.7	26.0	18.4
D. I.	3.2	10.5	28.6	39.3	3.2	6.1	2.9	-1.9	1.5	3.9	-0.3	1.1	-7.2	-2.5

売上高状況 (うち製造業のみ)

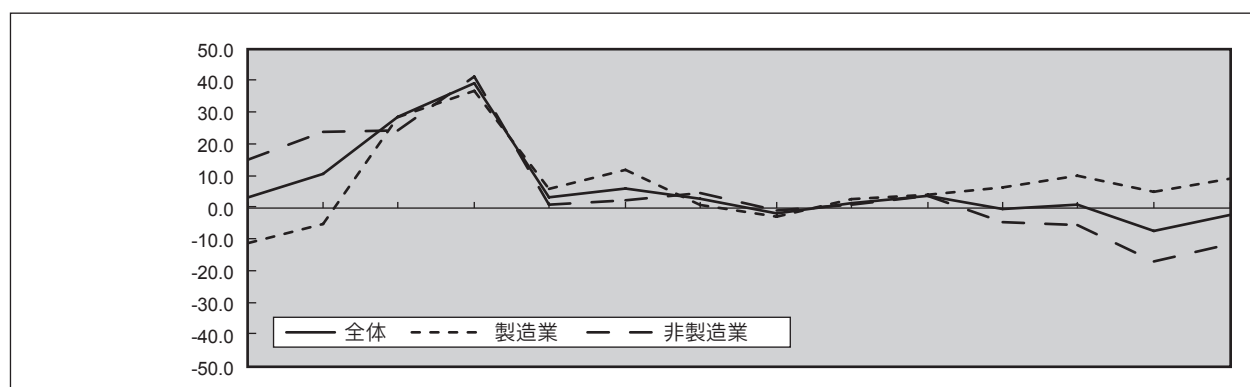
(%) 見込 予測

種別 \ 期別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月
増加	22.8	25.3	46.0	53.3	32.2	35.2	29.2	31.3	31.5	30.1	30.0	32.0	27.0	23.8
横ばい	43.3	44.0	36.5	30.3	41.5	41.7	42.5	34.8	39.6	43.9	44.2	45.9	50.8	61.5
減少	33.8	30.6	17.5	16.4	26.3	23.1	28.3	34.0	28.8	26.1	24.9	22.1	22.2	14.8
D. I.	-11.0	-5.2	28.6	36.9	5.9	12.0	0.9	-2.7	2.7	4.1	6.2	9.8	4.9	9.0

売上高状況 (うち非製造業のみ)

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月
増加	37.1	38.2	40.8	52.9	27.8	28.7	30.5	26.2	26.0	26.7	24.7	22.7	12.3	9.7
横ばい	41.1	47.5	42.8	35.7	45.1	44.4	43.5	46.4	48.8	50.3	45.8	48.7	58.7	69.0
減少	21.8	14.4	16.4	11.4	27.1	26.8	26.1	27.4	25.3	23.0	29.5	28.6	29.0	21.3
D. I.	15.2	23.8	24.3	41.4	0.8	2.0	4.3	-1.3	0.6	3.7	-4.7	-5.8	-16.8	-11.6



- (1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査の1~3月のD.I.は、前期より1.4ポイント改善の回答となった。売上高状況D.I.に、大きな変化はなく、前年比横ばい状態となつている。先行きについては、悪化予想となっているが、大きな変化はなく横ばいとの回答が多い。
- (2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業に分けると、製造業は前期比改善となっているが非製造業は悪化となっている。先行きについても、非製造業は、悪化予想であり、先行きが懸念される回答となった。

Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

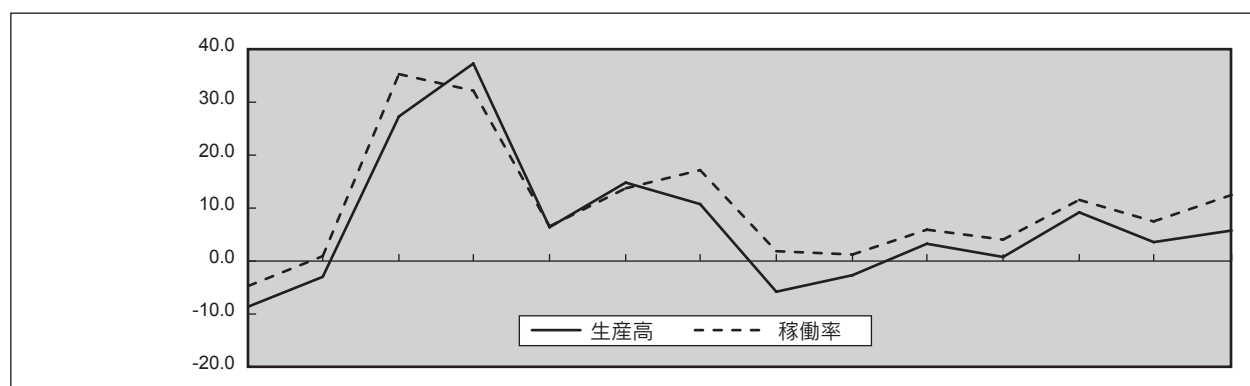
(%) 見込 予測

期別 種別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
20%以上増加	5.5	3.9	7.4	13.6	3.5	5.7	1.8	4.2	5.7	3.2	2.2	4.9	1.6	2.4
20%未満増加	17.2	19.5	33.1	38.1	27.8	27.9	29.2	24.6	21.9	24.8	26.1	26.0	23.8	20.3
横ばい状況	46.1	50.0	46.3	33.9	43.5	47.5	48.7	36.4	41.9	17.2	44.2	47.2	52.5	60.2
20%未満減少	21.9	24.2	11.6	13.6	23.5	17.2	17.7	28.0	27.6	21.6	25.4	14.6	17.2	13.8
20%以上減少	9.4	2.3	1.7	0.8	1.7	1.6	2.7	6.8	2.8	3.2	2.2	7.3	4.9	3.3
D . I .	-8.6	-3.1	27.3	37.3	6.1	14.8	10.6	-5.9	-2.9	3.2	0.7	8.9	3.3	5.7

稼働率（製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
上 昇	4.7	4.0	8.6	12.9	3.6	5.1	3.8	3.6	5.1	2.5	3.0	4.1	2.5	2.5
やや上昇	16.5	20.0	33.6	33.6	25.0	26.5	29.2	25.2	21.2	24.6	22.7	26.0	23.8	23.8
横ばい	52.8	52.8	50.9	38.8	49.1	50.4	50.9	44.1	48.5	51.6	52.3	51.2	54.9	59.8
やや下降	15.7	20.0	5.2	14.7	20.5	17.1	13.2	21.6	24.2	18.0	20.5	12.2	15.6	10.7
下 降	10.2	3.2	1.7	0.0	1.8	0.9	2.8	5.4	1.0	3.3	1.5	6.5	3.3	3.3
D . I .	-4.7	0.8	35.3	31.9	6.3	13.7	17.0	1.8	1.0	5.7	3.8	11.4	7.4	12.3



(1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.は8.9となり、前期比9.6ポイント改善した。売上高も改善しており、同様の推移となっている。

先行きについては、今期よりやや悪化する予想となっている。

(2) 稼働率についても、今回調査では、前期より7.6ポイント改善の回答であった。

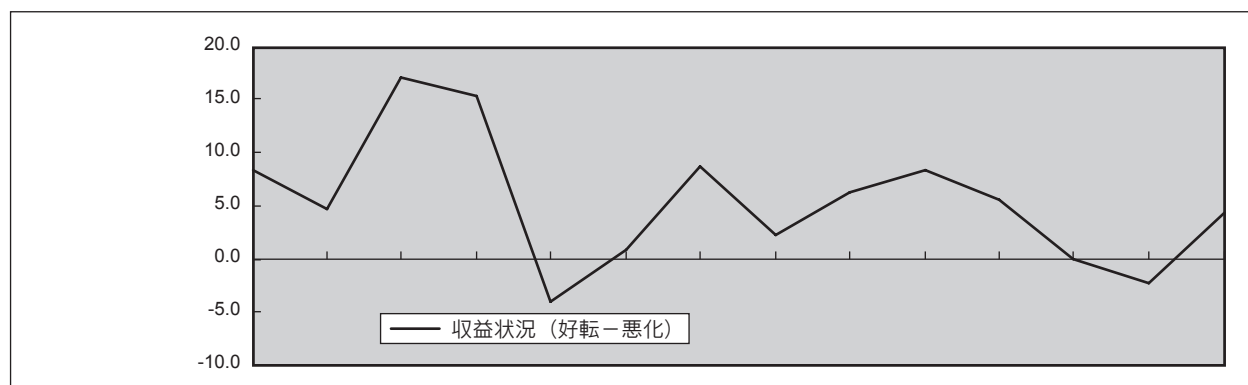
先行きについて、28年7～9月期は今期より、更に改善を予想した回答となっており、今後の改善を期待する回答となっている。

IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
好 転	25.2	19.3	28.5	29.9	14.6	20.8	23.8	23.2	23.2	22.8	22.7	19.4	16.2	13.3
横 ば い	57.9	66.1	60.1	55.3	66.8	59.2	61.0	55.9	59.9	62.7	60.1	61.2	65.5	77.7
悪 化	16.9	14.6	11.4	14.8	18.6	20.0	15.2	20.9	16.9	14.5	17.1	19.4	18.3	9.0
D . I .	8.3	4.7	17.1	15.2	-4.0	0.8	8.7	2.3	6.3	8.4	5.6	0.0	-2.2	4.3



好転理由

(%) 見込 予測

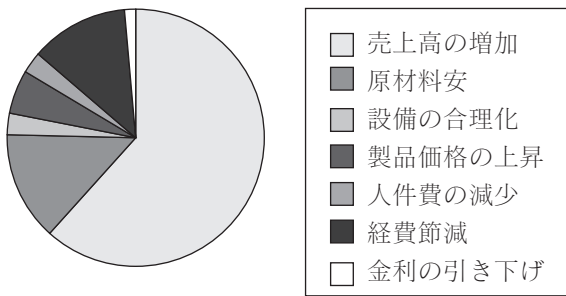
期別 種別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
売上高の増加	64.5	72.5	82.1	83.0	68.6	74.0	69.8	70.3	58.8	64.9	78.6	61.6	63.9	70.0
原 材 料 安	4.3	0.0	1.1	0.0	3.9	1.3	4.7	2.7	3.8	8.5	10.7	13.7	8.2	8.0
設備の合理化	3.2	4.3	3.2	2.3	5.9	3.9	5.8	6.8	7.5	2.1	0.0	2.7	6.6	4.0
製品価格の上昇	4.3	5.8	2.1	0.0	9.8	9.1	4.7	1.4	6.3	1.1	1.2	5.5	4.9	4.0
人件費の減少	4.3	4.3	4.2	2.3	2.0	2.6	4.7	4.1	3.8	6.4	1.2	2.7	1.6	2.0
経 費 節 減	18.3	13.0	7.4	11.4	5.9	9.1	9.3	10.8	17.5	16.0	7.1	12.3	14.8	12.0
金利の引き下げ	1.1	0.0	0.0	1.1	3.9	0.0	1.2	4.1	2.5	1.1	1.2	1.4	0.0	0.0

悪化理由

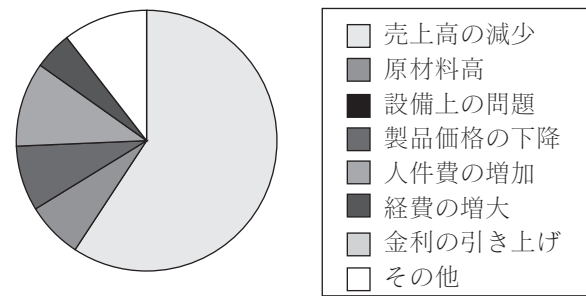
(%) 見込 予測

期別 種別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
売上高の減少	62.5	48.4	53.5	55.4	51.4	51.4	52.5	58.8	56.3	64.3	73.4	59.3	63.6	55.6
原 材 料 高	12.5	19.4	20.9	10.7	18.6	24.3	16.9	8.8	12.5	8.9	12.5	7.0	3.9	5.6
設備上の問題	0.0	6.5	0.0	0.0	1.4	1.4	3.4	4.4	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製品価格の下降	7.8	4.8	7.0	8.9	5.7	4.3	8.5	4.4	4.7	5.4	3.1	8.1	6.5	9.3
経 費 の 増 大	9.4	6.5	14.0	14.3	11.4	11.4	5.1	17.6	7.8	8.9	6.3	10.5	10.4	11.1
人件費の増加	3.1	8.1	0.0	3.6	8.6	4.3	6.8	0.0	0.0	1.8	3.1	4.7	5.2	7.4
金利の引き上げ	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そ の 他	3.1	4.8	4.7	7.1	2.9	2.9	5.1	4.4	14.1	10.7	1.6	10.5	10.4	11.1

好転理由



悪化理由



(1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、前期比5.6ポイント悪化し、0.0となった。

先行きについては、4～6月は今回より悪化を予想しており、D.I.はマイナスポイントとなっている。しかし、7～9月期には4.3と改善予想となった。

(2) 今期収益が好転した理由は、「売上高の増加」が61.6%、次に「原材料安」13.7%「経費節減」12.3%の順であった。

前回調査時より、「製品価格の上昇」「経費削減」を理由とするポイントが多く増加した。

「売上高増加」とするポイントは減少となった。

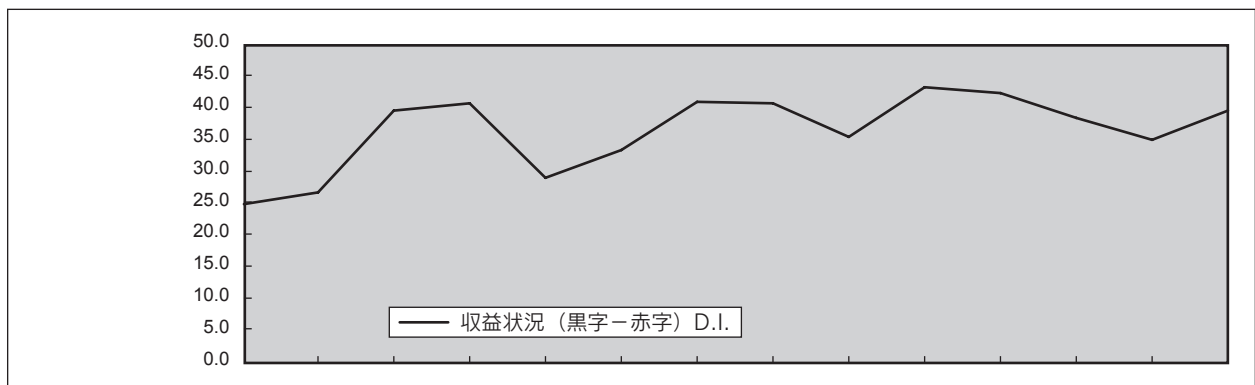
(3) 収益が悪化した理由では、「売上高の減少」59.3%、「原材料高」12.5%、「経費の増大」10.5%の順の理由であった。

「売上高の減少」「原材料高」とする理由は、前期より減少となった。

収益状況（黒字－償却後赤字）

(%) 見込 予測

種別	25年			26年			27年			28年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
黒字	44.3	42.5	53.8	53.5	45.1	49.4	52.8	52.7	50.6	54.1	54.5	51.7	44.6	45.5
収支トントン	36.3	41.8	31.8	33.7	38.6	34.5	35.1	35.2	34.2	35.1	33.2	34.9	45.7	48.5
償却後赤字	19.4	15.8	14.4	12.8	16.3	16.1	12.1	12.1	15.2	10.8	12.2	13.4	9.7	6.0
D.I.	24.9	26.7	39.4	40.7	28.9	33.3	40.8	40.6	35.3	43.3	42.3	38.3	34.9	39.5



(4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は38.3となり、前期比4ポイント悪化となった。

収益状況は、「黒字」との回答は減少してきており、「収支トントン」との回答が増加している。

先行きのD.I.も、大幅な変化はなく、「収支トントン」とする回答が多く、収益の改善は見込めないと見ていると思われる。

V. 製品在庫水準

製品在庫水準

(%) 見込 予測

期別 種別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不足	3.6	5.2	4.6	3.2	2.9	4.4	1.5	2.6	2.3	3.2	1.6	1.3	1.3	1.3
適正	88.8	91.3	89.9	90.3	91.3	89.2	91.3	89.7	91.1	88.9	92.5	91.6	94.2	95.5
過剰	7.6	3.6	5.5	6.5	5.8	6.4	7.3	7.7	6.5	7.9	5.9	7.0	4.4	3.1
D . I .	-4.0	1.6	-0.9	-3.2	-2.9	-2.0	-5.8	-5.2	-4.2	-4.7	-4.3	-5.7	-3.1	-1.8

製品在庫水準（うち製造業のみ）

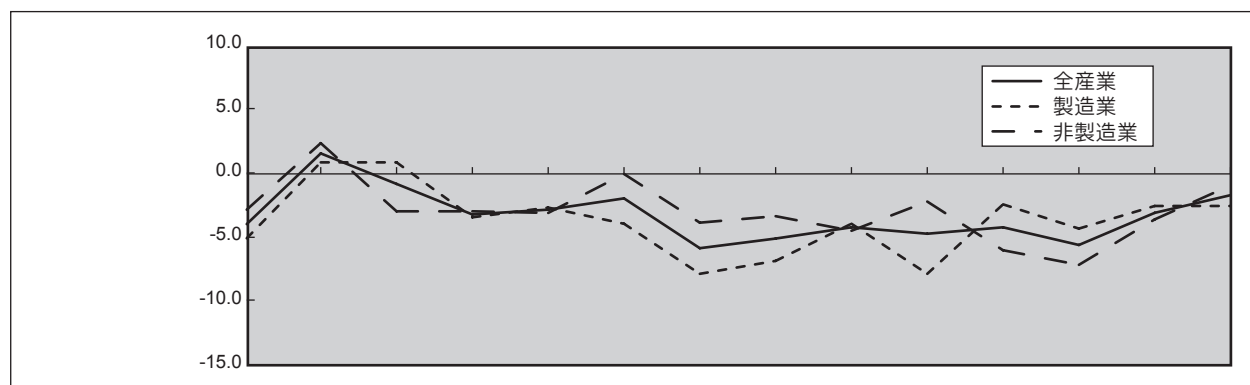
(%) 見込 予測

期別 種別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不足	5.1	6.3	5.2	3.5	4.5	5.0	2.0	3.9	3.9	4.3	2.5	2.6	1.7	1.8
適正	84.7	88.3	90.4	89.4	88.4	86.0	88.2	85.3	88.3	83.6	92.6	90.4	93.9	93.9
過剰	10.2	5.5	4.3	7.1	7.1	9.0	9.8	10.8	7.8	12.1	4.9	7.0	4.3	4.4
D . I .	-5.1	0.8	0.9	-3.5	-2.7	-4.0	-7.8	-6.9	-3.9	-7.8	-2.5	-4.3	-2.6	-2.6

製品在庫水準（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不足	1.9	4.0	3.9	2.9	1.0	3.9	1.0	1.1	0.9	2.2	0.8	0.0	0.9	0.9
適正	93.4	94.4	89.2	91.3	94.8	92.2	94.2	94.6	93.7	93.4	92.5	92.9	94.6	97.3
過剰	4.7	1.6	6.9	5.8	4.2	3.9	4.8	4.3	5.4	4.4	6.8	7.1	4.5	1.8
D . I .	-2.8	2.4	-2.9	-2.9	-3.1	0.0	-3.8	-3.3	-4.5	-2.2	-6.0	-7.1	-3.6	-0.9



(1) 全産業の製品在庫水準「不足-過剰」D.I.は、28年1～3月期は▲5.7となり、前期比1.4ポイント悪化となり、在庫は過剰の状態がより深刻となっている。

先行きについては、改善予想であるが、依然、過剰予想となっている。

(2) 業種別では、非製造業の在庫過剰とするポイントが多く、「機械工具販売」「鋼材建材販売」の業種が過剰とするポイントが高い。

製造業で在庫過剰となっているのは「木工建具」「プラスチック」「繊維」である。

VI. 設備投資動向

設備投資の有無

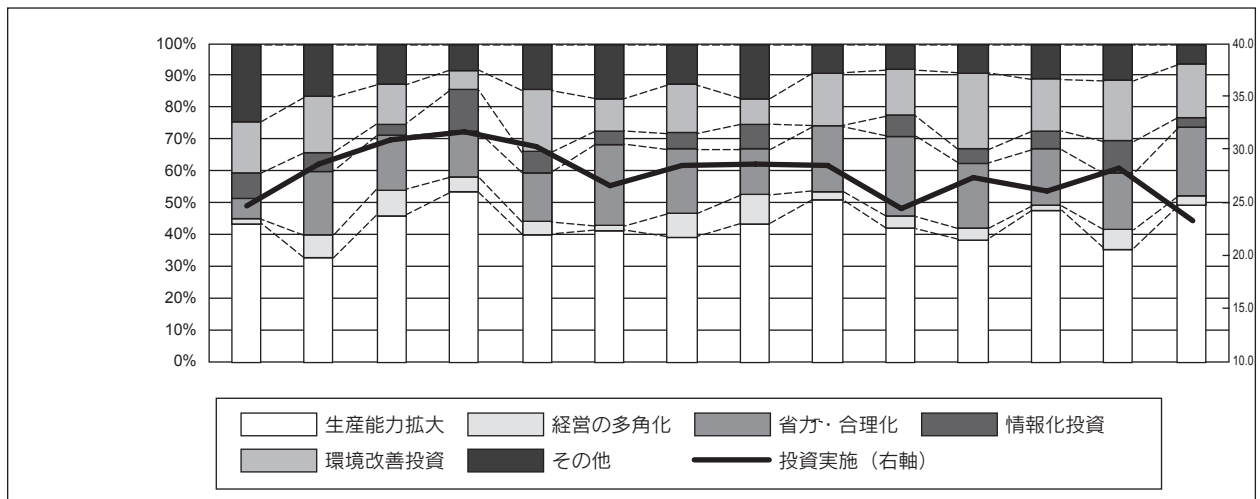
(%) 見込 予測

期別 種別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
投資実施	24.7	28.7	31.0	31.8	30.3	26.7	28.5	28.7	28.5	24.5	27.4	26.2	28.3	23.4
投資せず	75.3	71.3	69.0	68.2	69.7	73.3	71.5	71.3	71.5	75.5	72.6	73.8	71.7	76.6

設備投資の目的（実施先について）

(%)

生産能力拡大	39.1	32.9	46.0	53.6	40.3	41.4	39.2	43.4	51.3	42.1	38.6	47.9	35.4	49.2
経営の多角化	1.4	7.1	8.0	4.8	3.9	1.4	7.6	9.2	2.6	3.9	3.4	1.4	6.3	3.1
省力・合理化	5.9	20.0	17.2	14.3	15.6	25.7	20.3	14.5	20.5	25.0	20.5	17.8	17.7	21.5
情報化投資	7.2	5.9	3.4	13.1	6.5	4.3	5.1	7.9	0.0	6.6	4.5	5.5	10.1	3.1
環境改善投資	14.5	17.6	12.6	6.0	19.5	10.0	15.2	7.9	16.7	14.5	23.9	16.4	19.0	16.9
その他	21.7	16.5	12.6	8.3	14.3	17.1	12.7	17.1	9.0	7.9	9.1	11.0	11.4	6.2



(1) 今回調査では、設備投資を実施した企業は全回答先の26.3%と、前回調査時より1.2ポイント減少した。先行きについては、4～6月は28.3%、7～9月は23.4%が設備を行うと予想しており、減少する予想となっている。

設備投資の目的別では、「生産能力拡大」が最も多いが、前回調査より更に増加となった。

「省力合理化」「環境改善投資」は多いが、前回より減少となっている。

(2)業種別で、設備投資をしたとするポイントの高いのは、製造業では「医薬品製造」「機械工業」となっている。

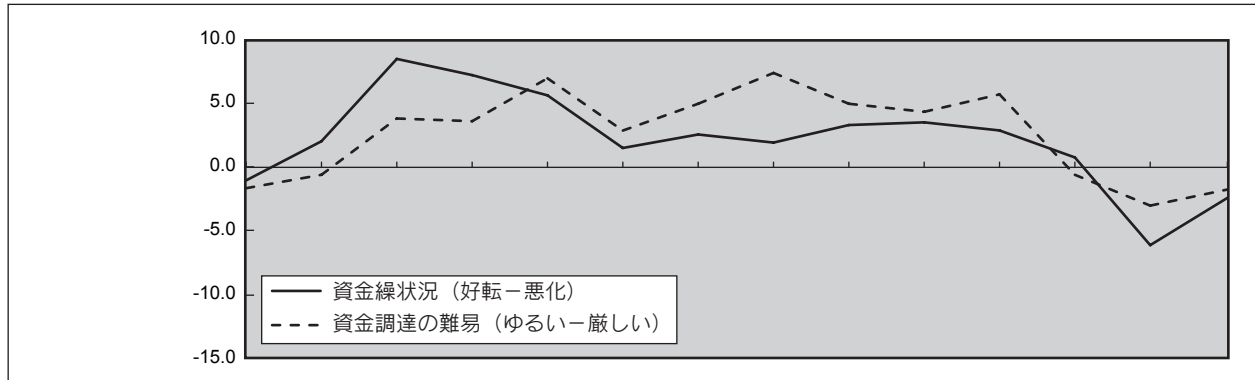
非製造業では、「宿泊業」「機械工具販売」「不動産業」が高いポイントであった。

VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
好 転	10.1	8.8	13.9	14.1	10.4	10.0	7.9	9.5	12.4	10.3	9.1	9.0	4.3	5.4
変 わ ら ず	78.8	84.4	80.8	79.1	84.9	81.6	86.6	83.0	78.5	82.9	84.6	82.3	85.3	86.7
悪 化	11.2	6.8	5.3	6.8	4.8	8.4	5.4	7.6	9.1	6.8	6.3	8.2	10.4	7.9
D . I .	-1.1	2.0	8.5	7.2	5.6	1.5	2.5	1.9	3.3	3.5	2.8	0.7	-6.1	-2.5



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

期別 種別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
ゆ る い	11.4	11.1	14.8	14.3	14.6	11.2	13.1	13.6	13.2	11.3	10.2	7.0	6.7	6.7
厳しくない	75.3	77.1	74.2	74.8	77.7	80.3	78.7	80.2	78.5	81.7	85.4	85.2	83.7	84.6
厳 しい	13.3	11.8	11.1	10.9	7.7	8.4	8.2	6.2	8.3	7.0	4.4	7.7	9.6	8.6
D . I .	-1.8	-0.7	3.7	3.5	6.9	2.8	4.9	7.4	4.9	4.3	5.7	-0.7	-3.0	-1.9

(1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は0.7となり、前期比2.1ポイント悪化となった。

先行きについては、D.I.はマイナスポイントとなり、悪化を予想している。

「好転」とする回答ポイントは、減少している。

(2) 資金調達の難易D.I.は、▲0.7となり、前期比大幅悪化となった。

先行きについても、更にマイナスポイントが高くなり、悪化予想である。

「資金調達」は厳しいとの回答が、増加してきている。

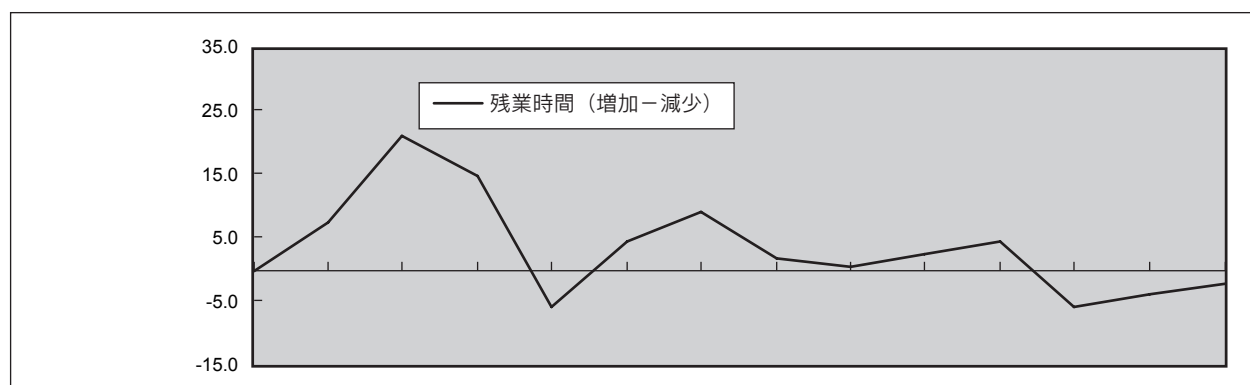
業種別では、製造業の「繊維」「医薬品製造」「木工建具」が厳しいとのポイントが高く、非製造業では、「不動産業」「その他サービス」のポイントが高くなっている。

VIII. 労務事情

残業時間

(%) 見込 予測

期別 種別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
増加	13.3	15.4	26.3	23.6	8.8	13.1	17.5	13.9	11.5	13.7	13.9	11.1	9.6	6.0
横ばい	73.0	76.6	68.6	67.5	76.8	78.1	74.1	73.9	77.5	75.0	76.7	72.2	76.9	85.5
減少	13.7	8.1	5.1	8.9	14.5	8.9	8.4	12.2	11.1	11.3	9.4	16.7	13.5	8.4
D . I .	-0.4	7.3	21.2	14.6	-5.7	4.2	9.1	1.7	0.4	2.5	4.5	-5.6	-4.0	-2.4

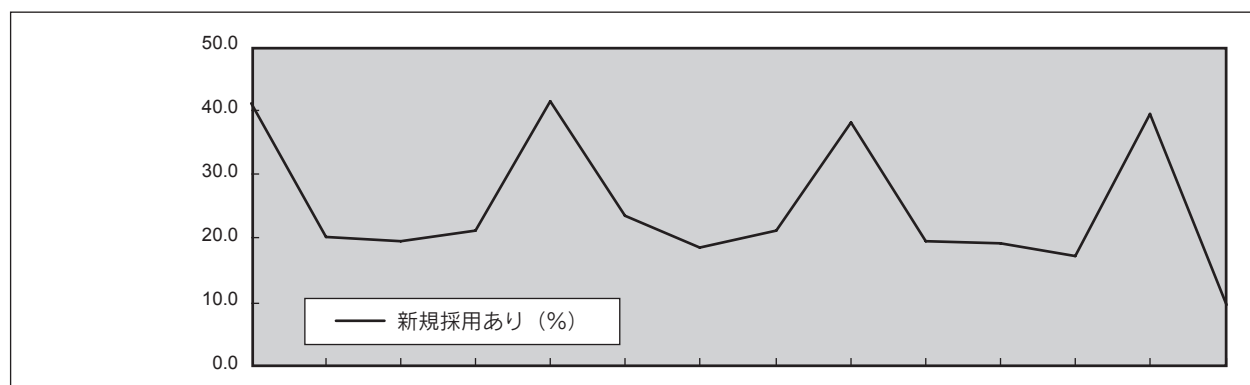


- (1) 残業時間D.I.は28年1～3月期▲5.6となり、前期比10.1ポイント減少した。残業時間は、今回調査の年明けより減少したとの回答となった。先行きについても、減少する予想となっている。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

(%) 見込 予測

期別 種別	25 年			26 年			27 年			28 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
全産業	40.9	20.3	19.6	21.2	41.5	23.4	18.5	21.2	38.0	19.6	19.3	17.2	39.2	9.7
(うち製造業)	40.2	20.0	18.1	23.8	45.5	25.9	23.7	20.7	40.9	22.8	22.5	20.3	43.9	7.3
(うち非製造業)	41.4	20.5	20.9	19.0	37.9	21.6	14.8	21.6	36.0	17.6	17.2	14.7	35.5	11.6

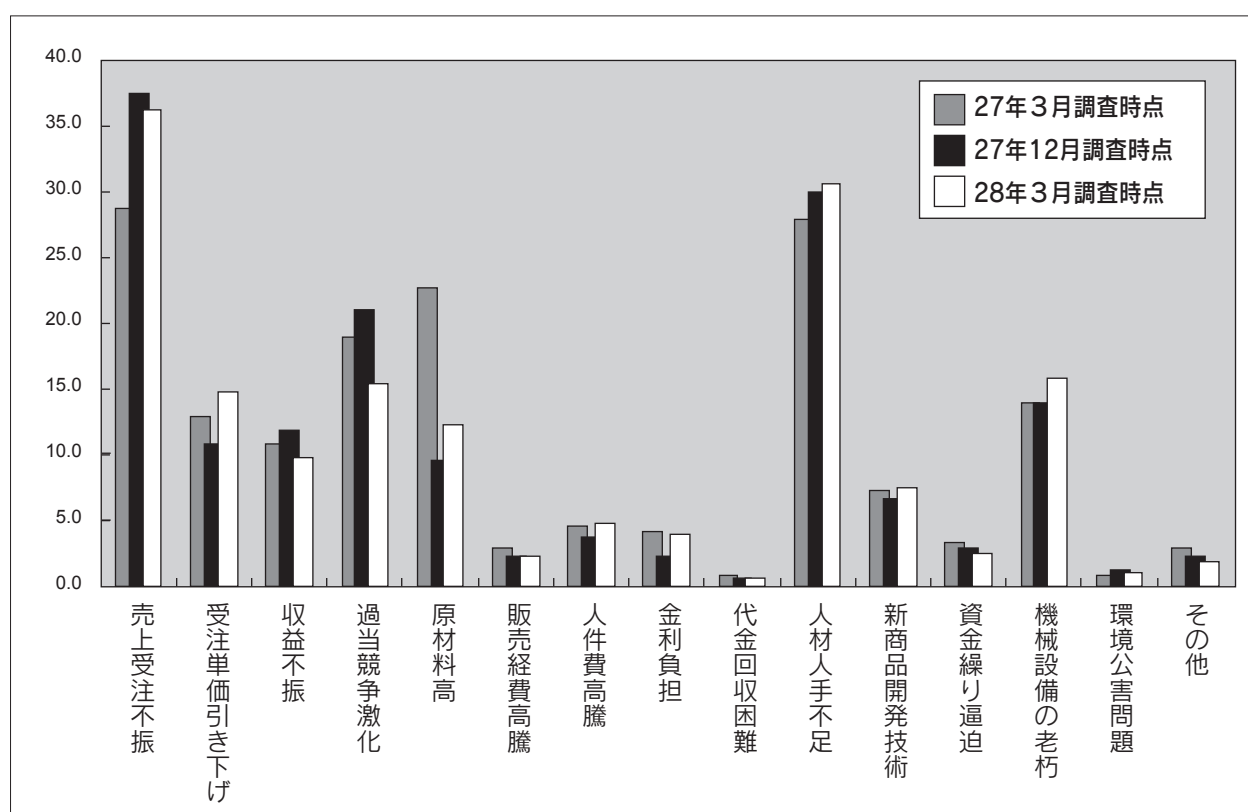


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。前年同期より、採用は減少した。前回調査の年末は前年比増加しており、この影響によると思われる。先行きの4～6月には、例年同様の採用比率となっている。

IX. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	27年3月 (前年同期)	27年12月 (前回)	28年3月 (今回)	28年3月		前环比増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	28.7	37.3	36.2	(37.4)	(35.3)	-1.1
受注単価引き下げ	12.8	10.8	14.7	(16.3)	(13.5)	3.9
収益不振	10.9	11.8	9.7	(9.8)	(9.6)	-2.1
過当競争激化	18.9	21.0	15.4	(9.8)	(19.9)	-5.6
原材料高	22.6	9.6	12.2	(14.6)	(10.3)	2.6
販売経費高騰	3.0	2.2	2.2	(2.4)	(1.9)	0.0
人件費高騰	4.5	3.8	4.7	(1.6)	(7.1)	0.9
金利負担	4.2	2.2	3.9	(4.1)	(3.8)	1.7
代金回収困難	0.8	0.6	0.7	(0.0)	(1.3)	0.1
人材人手不足	27.9	29.9	30.5	(27.6)	(32.7)	0.6
新商品開発技術	7.2	6.7	7.5	(13.8)	(2.6)	0.8
資金繰り逼迫	3.4	2.9	2.5	(1.6)	(3.2)	-0.4
機械設備の老朽	14.0	14.0	15.8	(22.0)	(10.9)	1.8
環境公害問題	0.8	1.3	1.1	(2.4)	(0.0)	-0.2
その他	3.0	2.2	1.8	(0.8)	(2.6)	-0.4



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振36.2%（前期比▲1.1ポイント）、②人材人手不足30.5%（前期比+0.6ポイント）③機械設備の老朽15.8%（前期比+1.8ポイント）の順になっている。
- (2) 今回調査では、前期比最もポイントが高く変化したのは「受注単価引き下げ」であり、3.9ポイント増加した。反対に「過当競争激化」は5.6ポイント減少した。
- (3) 問題点の「売上受注不振」が高い業種は、「自動車販売」「繊維」となっている。「人材人手不足」は「医療福祉」「運送業」「電子部品製造」であった。「機械設備の老朽」の問題点では、「宿泊業」「出版印刷紙加工」となっている。

X. 北陸新幹線開通による事業への影響について

平成27年3月に北陸新幹線が開通した。この影響について、前年同期と比較して、売上高、売上高が上がった先に対する上昇比較の見込み、今後の予想について、アンケートを行った結果である。

項 目		見込 予測 (%)		
		28年1～3月	28年4～6月	28年7～9月
売 上 高	好 転	5.3	3.8	3.8
	悪 化	3.4	1.9	1.9
	影響なし	91.3	94.3	94.3
売 上 高 上 昇 率	10%未満	77.2	83.3	86.8
	10～20%以内	19.3	7.4	7.5
	20%以上	3.5	9.3	5.7

- (1) 売上高に影響があった企業は8.7%あり、売上が好転したとする企業は、悪化したとする企業より1.9ポイント多かった。前回調査より減少している。
先行きについても、好転する企業が多い予想となっている。
- (2) 売上高の上昇率は、10～20%以内とするポイントは前回よりやや増加した。
先行きについては、20%以内とする回答が減少予想となり、10%未満と20%以上が増加する回答となっている。